

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センタークオランビーノ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の関係機関と連携をとりながら、こどもの個性を大切に丁寧な支援を行っています。	地域の行政と丁寧なやり取りをする中で、一人一人のニーズに合わせて丁寧な対応を行っています。	町内にかかわらず、町外においても関係機関と連携を行うことで、つながりのある支援を実践できるようにしています。
2	専門資格をもつ職員が、日々こども達の支援に関わっています。	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士・児童指導員・幼稚園教諭・小学校教諭などの専門資格をもった職員を配置していることで、総合的にこども達の発達を捉えて対応できています。	多職種間での連携を深めることで、より支援の質を高め、活動の中で実践できるように取り組んでいます。
3	こどもの活動する場所を十分に確保し、心地よい環境を設定できるようにしています。	建物内は、すべてバリアフリー、床材はクッションフロアで、安全に遊べる環境を整えています。	様々な活動を取り入れることで、こども達が体験、経験できる場を増やします。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎のニーズに対して、一部しか対応できていません。	利用者が広範囲の地域から利用しているため、全利用者への送迎が難しく、課題に感じています。	職員配置、送迎車の確保を課題として、引き続き検討していきます。
2	事故発生時の対応、災害マニュアル等の周知の方法について改善が必要と思われます。	保護者へ周知する機会の確保、センターでの取り組みについて知らせる機会が必要だと感じています。	契約時や懇談会等において、事故発生時の対応、災害マニュアル等について、具体的に説明を行います。
3			